

よらおかね 小合

2025.9.15 第92号

発行者
小合地域コミュニティ協議会
(コミュニティセンター内)
☎ 0250-25-2299
発行人／ 井浦 博男
編集／ 広報文化部

地域の人口動態
令和7年8月末現在
世帯数 1,298 世帯
男 1,704 人
女 1,752 人
人口 3,456 人

市長・教育長へ「要望書」を提出



令和7年7月9日

小合地域の小学校統合についての「要望書」が、地域を代表して小合地域コミュニティ協議会井浦会長より中原新潟市長、夏目教育長に提出されました

【今後について】

7月27日に新潟市教育委員会において統合が決議されました。これを受け、統合と閉校に向けた準備がスタートします。それぞれの準備にあたり、今後も地域・保護者の皆様からのご要望やご意見をお聞きしながら検討を進める予定です。学校を取り巻く様々な立場の大人たちが、知恵を出し合い、協力しあうことにより、こどもたちが笑顔で統合を迎えられますよう、地域・保護者の皆様からは、引き続きご理解とご協力をお願いいたします。

ソフトバレーボール大会 R7. 6. 22



優勝チーム 大鹿1区A



優勝 大鹿1区A
準優勝 大鹿サックス
第3位 チームクール
(小合中0B/0G 高校生)



7チーム総勢48名の皆さんから参加していただきました。今回も高校生や中学生だけで編成されるチームの参加もあり、元気な歓声が小合中学校の体育館に響き、賑やかな大会となりました。

小合中吹奏楽部発表会 R7. 8. 2



沖縄民謡、ディズニー、わらべ歌、ジャズなど幅広い楽曲の発表がありました。当日は50名を超える保護者、地域の皆様から来場いただき、手拍子もあり、和やかな雰囲気の中での発表会となりました。3年生（前列の3人）は、この発表会をもって中学3年間のクラブ活動を終える引退の日となりました。

【コミ協役員の交代について】（お知らせ）



副会長 鈴木弘英氏が一身上の都合により退任いたしました。後任として常任運営委員会の承認を得て、稲月正樹氏（大鹿）が過日就任されました。よろしくお願いいたします。

秋葉区地区懇談会

R7. 8. 7

長崎秋葉区長より秋葉区の向かう方向性や具体的な事業への取組みについて説明がありました。地域課題についての質問・意見も多くあり、有意義な懇談会となりました。



【地域課題】（行政への要望事項）

1. 学校統合に伴う諸課題についての要望
 - ① 小合東小学校の駐車場整備②多目的室等のエアコン設置③小合東幼稚園跡地利用④避難所施設の確保⑤小合小跡地を児童館新設候補地としたい（避難所機能を併せ持つ）
2. 小合コミセン建物内施設や設備の改修
3. 旧新津市域における学区外就学の特例措置の廃止について（要望）
4. 国道460号線新津西バイパス（旧名称小合バイパス）の整備計画の早期の提示
5. 浦興野地内の側溝改良及び歩道新設工事の内、令和7年度分工事内容の確認
6. 小合西保育園前の市道交差点に交通事故防止の為に注意喚起（停止線、カラー舗装化等）
7. 大秋地内県道1号と並行する市道に制限速度標識の設置など交通事故対策設備の新設
8. 現行公共交通機関の利便性が悪く、こどもや高齢者の移動手段を制度も含め検討願う

【地域課題への回答】

1. ①駐車場を含む外構工事は今後の統合に合わせ検討②多目的室含む特別教室へのエアコン設置は今年度中に設置完了予定③要望を踏まえ公共施設の在り方を念頭に検討④小学校跡地は基本的には指定避難所にはならない⑤区役所と地域でまちづくりの方向性について検討
2. 要望のあった和室の畳交換の準備を進める。その他備品の修繕、新規購入などについては指定管理者負担となる為指定整備補助金制度を検討願いたい。
3. 通学距離基準等の特例措置については現在も多くの児童生徒が利用している制度であり、旧新津市域全域の方々に影響がある為見直しには旧新津市域内の全コミ協の同意が必要となる。
4. 現在事業中の新潟中央環状道路や小須戸橋架替えの進捗状況を踏まえ今後検討していく。
5. 令和8年度に残区間170mの工事を実施し、当該路線の整備完了を予定する。
6. 当該交差点は通学路に指定されている。安全対策については今年度中に通学路安全推進会議で関係機関と協議していく。
7. 道路標識や交通規制は秋葉警察署の管轄。内容は伝えるが、地域からも要望をお願いしたい。
8. 区バスの運行についての可能性を自治協の意見を踏まえながら検討していきたい。又、本市には柔軟な交通手段として「住民バス補助制度」がある。本制度の活用も検討願いたい。



2012年から小合東地域の小学生女子と保護者により『小合で楽しくバスケがしたい』の思いからチームを立上げ、『ハピネス小合』として活動を開始して、今年で13年目を迎えます。立上げ当初は小合東小の児童のみの活動でしたが、小合小の児童も参加するようになりました。

NSAKウィングス
(旧ハピネス小合)
を紹介します



チームは女子での活動でしたが、男子児童もバスケがしたい等多いときは30人ほどの児童数でした。今は小合地域だけでなく、小須戸、金津、新関、二小、阿賀と6校区の小学校の児童によるチームとなりました。ハピネス小合改め『NSAKウィングス』と名称を変更し、約束事や礼儀、感謝の気持ち、諦めない心などバスケットというチームプレイを通じ、参加しないと経験できない思い出を作れていると思います。今後も秋葉区の児童と楽しく体育館でドリブルの音を奏で続けていきます。

(寄稿…コーチ 澤田賢二)



今のチームを立ち上げ今年で七年です。創設のきっかけは、私の長男(当時小学三年)が所属していた「秋葉レッドナイト」が秋に突然解散になったことです。『絶対無理だっ』と心配される中、熟考の末にチーム立ち上げを決断しました。過去に「小合東レッドナイト」で長年監督として指揮を執られた井浦監督へご挨拶に伺いました。

小合レッドナイト
(学童軟式野球)
を紹介します



そこで『自分自身も野球に育てられた事、微力ながら野球で恩返しをしたい事、何より地元の子供たちに野球ができる場所を作りたい事』等その思いをお伝えしました。井浦さんへの監督就任のオファーはご多忙なこともありNGでしたが、井浦さんから『頑張って!』と背中を押してもらえたことは、新チームの船出に向けて大きな勇気をいただきました。3名でスタートしたチームは現在16名になりました。昔の最強チームにはかないませんが、野球を楽しむ令和の子どもたちと過ごす時間は最高の幸せと感じています。

(寄稿…監督 杉崎英史)

